

「フィールドアスレチック」

野田清水公園には、国内最強、最大級といわれるフィールドアスレチックがある。冒険、チャレンジ、水上の3つのコースがあり、合わせて100個のポイントがある。簡単にクリアできそうなものもあれば、これは難しい、できないと思うようなものもある。1時ごろから2時半まで、1時間半ほど全員の生徒が楽しんだ。

中でも水上コースは、かなり人気があった。水に落ちることを前提に、もしこのコースに行くなら着替えなどの用意と保護者の承諾を得ることを条件に行かせた。水に落ちた生徒の中には、上半身まで濡れてしまった生徒もいる。一度濡れると、もういやという気になるのか、躊躇しそうなポイントでも、度胸良くやろうとする。また、水に落ちることも多いのだが。この時期、水は冷たく感じる。端から見ていると、とても寒そうに見える。

ポイントの中で難易度が高かったのは、水上コース中央にある「水上ターザン」である。ロープにぶら下がり、ネットに飛び移る。下は水。中央にあるだけに、みんなの注目を集める。成功者は少なく、ロープから手を離せず戻ってしまう生徒が多かった。それでも成功者が出ると、見ていた人から拍手が沸く。また、冒険コースにある「輪まわし」はおもしろい。輪の中に入り、中で歩くことで輪を回転させる。簡単に言うと人間版の「回し車」のようなもの。前に動き始めると、止まることができず、止まると後ろに大きく振られてしまい、立ってられなくなる。マウスやリスの気持ちがわかるポイントだ。

ところで、清水公園に行く途中には、野田貝塚の史跡があった。また、公園に面した金乗院には「算額」が奉納されている。算額とは、江戸時代の和算家が自分で作った数学の問題や解答を書いて、神社や寺院などに奉納した絵馬。その問題を解いてみたいと思う。そして、清水公園は紅葉が最もきれいな時期である。紅葉した葉が風に舞い落ちる。ところどころにあるモミジの木は、葉が鮮やかに赤く色づいている。この公園やその付近を散策するだけでも楽しい。ただ、生徒は飯盒炊さんとフィールドアスレチックに夢中で、紅葉していた記憶はないかもしれない。

11月18日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 次の計算をしましょう。

$$2 \times 3 + 3 \times 4 + 4 \times 5 + \dots + 18 \times 19 + 19 \times 20$$